

I 基本方針

北海道文化財団は、道民一人ひとりが心の豊かさを実感できるゆとりと潤いに満ちた地域社会の実現をめざし、道民生活の全般に係る幅広い文化の振興に関する事業を行い、新しい地域文化を創造するとともに、全ての道民の皆さんが文化の恵みを楽しむ生活文化圏づくりに資することを目的として、平成6年11月に設立され、平成24年4月には、公益財団法人へ移行した。

財団では、事業の実施に当たる基本方針として、文化芸術活動等の多様な価値、効果を継承し、発展させ、創造する視点を基本に、これまで蓄積してきたノウハウ、人的ネットワークを活かし、地域の文化団体等との連携のもと、新たな企画を取り込むとともに、効率的な執行に努めながら、事業効果の達成に向けて全道で展開している。

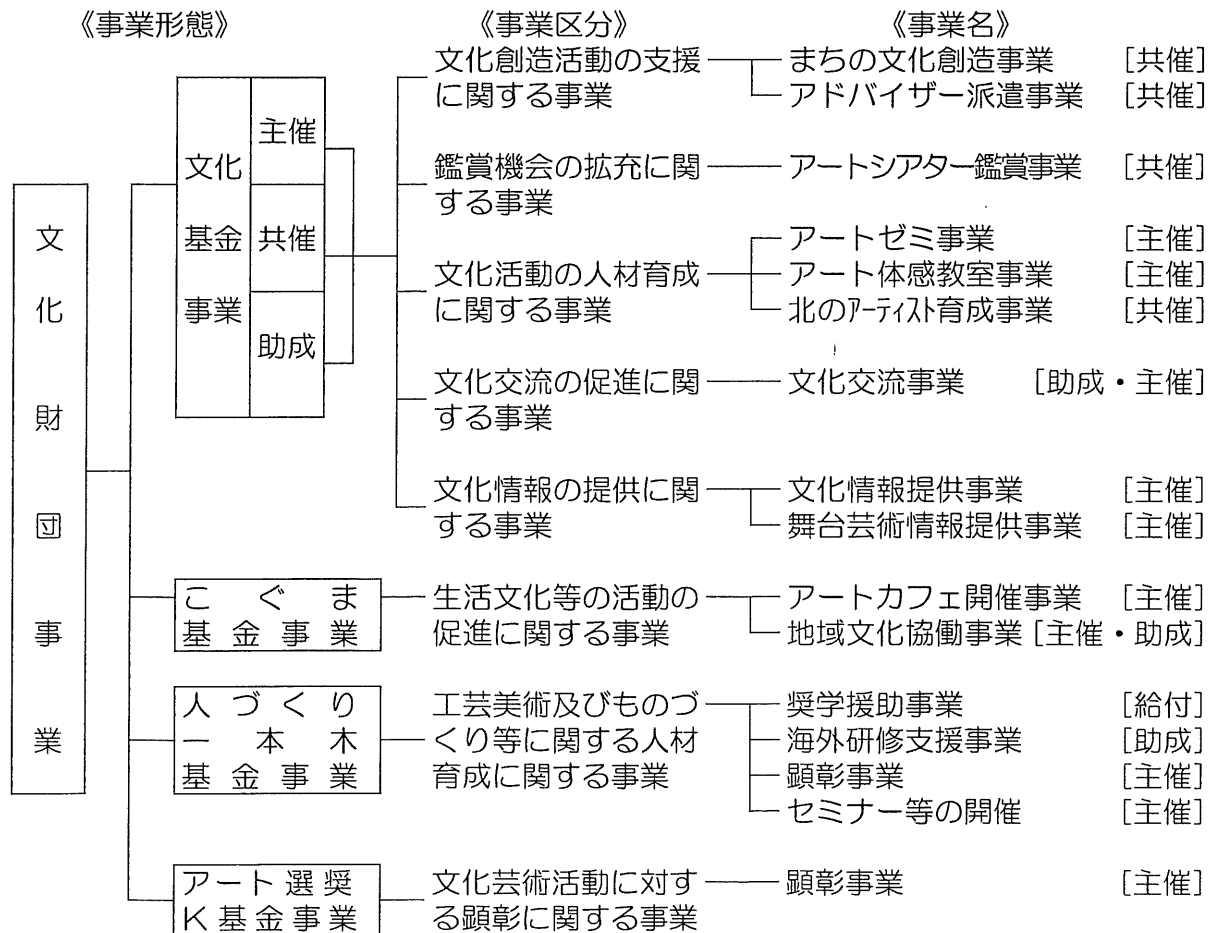
この基本的な考えを踏まえ、2019年度における文化基金事業では、共催、助成事業での細やかな対応、さらに「アートゼミ事業」での国や道内外の地域と連携した事業、平成30年度に統合、拡充した「北のアーティスト育成事業」、光州広域市との文化提携交流事業等によって、幅広く文化芸術活動の進展を図る。

こぐま基金事業では、多様な事業を展開していくため助成金を活用した事業や、地域との連携協力を図る事業を実施する。

人づくり一本木基金事業では、奨学生、研修生の応募の周知の充実に努めるとともに、ものづくりに取り組む若者の意欲の喚起を図るための研修や、奨学生等の相互の交流や結びつきを強める事業を実施する。

また、財団の自主的、安定的な運営、事業を推進するため、引き続き寄附などによる資金調達の拡充に務める。

II 北海道文化財団事業体系



### Ⅲ 文化財団事業

#### 1 文化基金事業

##### (1) 文化創造活動の支援に関する事業

【2019 予算額 (H30 予算額)】

##### ア まちの文化創造事業

【19,648 千円 (19,648 千円)】

地域住民が参加する自主的で創造的な、公演や展示等の発表に対し、経費の負担や助言等を行い、自主的な文化活動を促進するとともに、文化活動による地域づくりの機運の醸成を図る。

- 16事業 (17市町)

##### イ アドバイザー派遣事業

【3,827 千円 (3,927 千円)】

地域の文化団体等からの要請に基づき、文化活動に関する専門的な知識や経験を有するアドバイザーやプロのアーティストを派遣し、事業企画や舞台技術に関する指導・助言、舞台表現に関するワークショップ等を行い、課題を解決するなど、地域における文化創造活動を支援する。なお、財団事業未実施の南富良野町に派遣することにより、全道の旧212市町村全てを網羅する。

- 舞台技術アドバイザー 1件 (上川町)
- 舞台表現アドバイザー 21件 (砂川市、小樽市、様似町、函館市、旭川市、南富良野町、苫前町、稚内市、北見市、美幌町、帯広市、芽室町、広尾町、幕別町、浦幌町、中標津町、羅臼町、札幌市)

##### (2) 鑑賞機会の拡充に関する事業

##### アートシアター鑑賞事業

【20,167 千円 (20,167 千円)】

当財団が選定した公演や、各市町村や地域の文化団体等が連携して企画する公演に対し、経費の負担や助言等を行い、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化の裾野の拡充を図る。

- 道内アーティストプログラム 6公演 (6市町)
- 道外アーティストプログラム 19公演 (19市町)
- ネットワーク型プログラム 5公演 (5市町)

##### (3) 文化活動の人材育成に関する事業

##### ア アートゼミ事業

【2,085 千円 (2,090 千円)】

道内で舞台芸術や音楽、美術等の創作・表現活動、企画制作・マネージメントに関わる方を対象に、少人数による実践的な講座を開催し、アーティスト等の資質の向上を図る。

また、(一財)地域創造の公共ホール演劇ネットワーク事業(伊達市出身の演出家・藤田貴大氏が主宰する劇団「マームとジプシー」の公演を、道内3地域:伊達市、土別市、富良野市~アートシアター鑑賞事業で共催~,及び札幌市~札幌文化芸術劇場クリエティブスタジオ、道外4地域:東松山市、福岡市、久留米市、熊本県と共同・連携して実施)に参加し、演劇分野における創造的な環境づくり、ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上を図る。

- 2講座程度
- (一財)地域創造 公共ホール演劇ネットワーク事業

##### イ アート体感教室事業

【2,903 千円 (2,906 千円)】

国内外で活躍するアーティストを道内各地に派遣し、各地の子供たち(児童・生徒)を対象とした体験型ワークショップや、アーティストとの共同制作等の交流を行うほか、アーティストとともにミニライブや展覧会を通して、豊かな想像力や表現力の育成を図る。

- 4町(湧別町、中標津町、浦河町、幕別町)

ウ 北のアーティスト育成事業 【6,300 千円 (6,262 千円)】  
平成30年度に公募し、選定した3つのHAFアンサンブルによるコンサートを  
行う。

また、道内において活動している若手アーティストによる「音楽の宅配便」を道内  
各地域に派遣し、公演等を行うことで、アーティストとしてのスキルアップと地域に  
おける文化の振興を図る。

- HAFアンサンブル 3組 (札幌市 他)
- 音楽の宅配便 3組 (えりも町、剣淵町、留寿都村、木古内町)

(4) 文化交流の促進に関する事業

文化交流事業 【5,150 千円 (5,150 千円)】

道内において、音楽、演劇、舞踊、美術等の芸術分野で活動している地域の文化団  
体等が、道外や海外で行う公演等や、道外や海外において、音楽、演劇、舞踊、美術  
等の芸術分野で活動している文化団体を招へいして、道内の文化団体等と交流を行う  
事業に経費の助成を行い、道内の文化活動の活性化を図るとともに、道外及び海外とネ  
ットワークづくりを図る。

また、文化提携交流を行っている韓国・光州広域市から芸術団体を招へいし交流する。

- 発信交流事業 3件 (札幌市)
- 招へい交流事業 9件 (苫小牧市、函館市、札幌市)
- 文化提携交流事業 1件 (韓国・光州広域市)

(5) 文化情報の提供に関する事業

ア 文化情報提供事業 【4,191 千円 (4,070 千円)】

当財団が実施する各事業の内容や地域において自主的に企画する文化活動の参考  
となる情報を、情報誌「北のとびら」やホームページを通して提供するほか、当財  
団の事務所内に「文化情報ライブラリー」や、美術作品等を紹介する「アートスペ  
ース」を設け、運営する。

また、共催事業や主催事業の内容を収録するオリジナル映像「北の情熱」を制作  
する。

イ 舞台芸術情報提供事業 【729 千円 (850 千円)】

道内で実施可能な音楽、演劇、舞踊等の公演の最新情報を提供する「北海道舞台  
芸術情報フェア」や、鑑賞事業の共同開催に向けて、市町村や地域の文化団体等と  
公演企画団体が情報を交換する「舞台芸術ネットワーク会議」を開催する。

- 北海道舞台芸術情報フェア
- 舞台芸術ネットワーク会議

2 こぐま基金事業

(1) アートカフェ開催事業 【500 千円 (500 千円)】

暮らしの中にアートを身近なものに感じてもらうこと、アートを通して人と人とが  
出会い、豊かな時間を持つことを目的に、道内外で活躍するアーティスト等をゲスト  
に迎え、参加者とアーティストが身近な距離で交流するトークイベントを開催する。

- 1事業

(2) 地域文化協働事業 【2,380 千円 (4,302 千円)】

生活文化等の分野で活動する団体等と当財団との協働により、各種事業を実施し、  
地域文化の一層の創造、発展を図る。

なお、(一財)地域創造の助成を得て、道内における演劇創作活動の活性化、並びに  
劇作家、演出家、俳優等の人材育成を目的とする北海道演劇人育成推進事業を実施する。

- 4事業程度

3 人づくり一本木基金事業 (顕貴・スチウレ・エング人づくり顕彰) 【9,300 千円 (7,300 千円)】

長原寛氏並びにスチウレ・エング氏からの指定寄附を基に、工芸美術及びものづくり等の分野において、次代を担う人材を育成し、北海道における創造活動の振興発展に資するため、道内在住又は道内出身者を対象に、奨学の援助、研修の支援、顕彰並びに人材育成に関する事業を実施する。

- 奨学援助事業 11名程度
- 海外研修支援事業 1名程度
- 顕彰事業「ものづくり一本木選奨」 3件程度
- 人材育成事業 ものづくり交流セミナーの開催 など

4 アート選奨K基金事業 【165 千円 (165 千円)】

磯田憲一氏からの指定寄附を基に、財団創立20周年を記念し、文化芸術活動の一層の振興発展に寄与するため、個人又は団体に贈呈する。

- アート選奨 1件

IV 執行体制

《組織図》

